

## 1. 流域の自然状況

### 1-1 河川・流域の概況

さる川は、その源を北海道沙流郡日高町日高山脈に発し、ちろる川等を合わせ、日高町市街部に出て更に溪谷を流下して平取町に入り、ぬかびら川等を合わせ、もんべつ川において太平洋に注ぐ、幹川流路延長 104km、流域面積 1,350km<sup>2</sup>の一級河川である。

その流域は、日高町、平取町、門別町の 3 町からなり、流域の土地利用は、山地等が約 88%、水田、畑等の農地が約 6%、宅地等の市街地、その他が約 6%となっている。流域内は林産資源などに恵まれ、下流では農耕地として明治初期からひらけ水田、牧畜等が営まれ、近年は全国有数の軽種馬の産地として、沿岸漁業とともに、北海道日高地方西部における社会・経済・文化の基盤をなすとともに、多様な自然環境を有していることから、本水系の治水・利水・環境についての意義は極めて大きい。

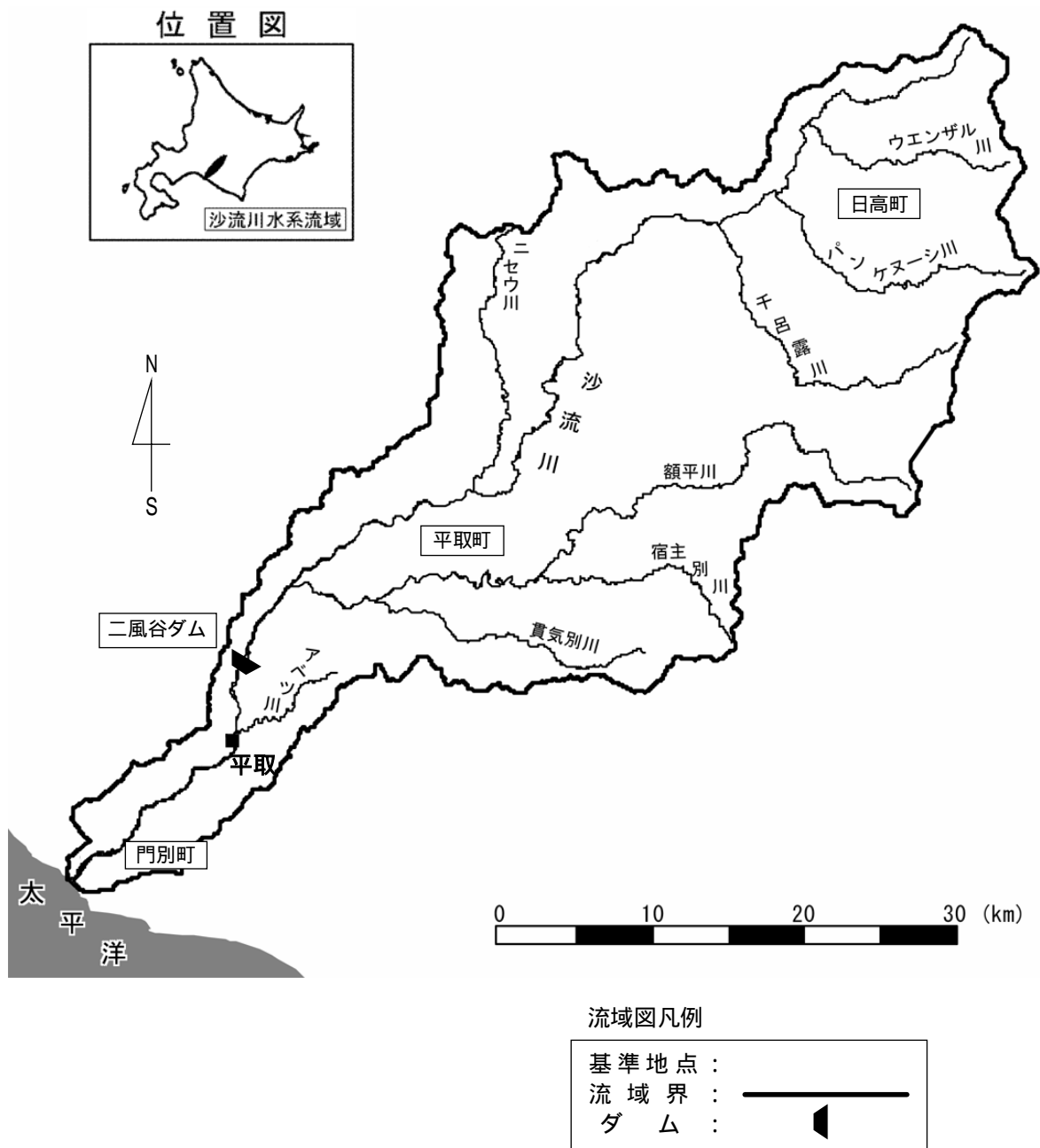


図 1-1 沙流川水系流域図

表 1-1 沙流川流域の概要

項目	諸元	備考
流路延長	104km	
流域面積	1,350km <sup>2</sup>	
流域市町村	3町	日高町、平取町、門別町
流域内人口	約 1.5 万人	平成 7 年河川現況調査
河川数	28	

## 1-2 地 形

流域の地形は、東は北海道の脊梁をなす日高山脈の2,000m級の山が連なり、北及び西は1,000m級の山で連なった分水嶺を持っている。流域の形状はほぼ南西～北東にのび、流域平均幅は約13kmと細長い形状になっている。最上流部の日高山脈は山腹斜面は急峻で、中流部はおおよそ標高200～400mの範囲にあり、山腹斜面はやや緩やかになるとともに、河岸段丘の発達が顕著である。下流部は、標高100m以下となり、山腹斜面はさらに緩くなるとともに、河岸段丘もさらに広く発達し、平取本町から下流部には沖積平野の発達もみられる。

沙流川の上流部では、急峻な峰々を連ねた日高山系および輝緑凝灰岩から成る竜門峡のような渓谷と清流から成る景観が連続し、河床は岩盤等で構成されている。

岩知志ダムから二風谷ダムの中流部では、上流部に比べ流れは穏やかで、河岸段丘の発達が顕著であり、河川に沿って農地と国道が連続する。河道は、河床堆積土砂も多くなり瀬や淵がみられるようになる。

二風谷ダムから下流では右岸主体に堤防が続き、周辺では軽種馬や飼育牛の放牧および野菜栽培などが行われ、牧歌的な田園風景が広がり、良好な自然環境とともに魅力あふれる流域景観資源となっている。河道は、河床部が堆積砂礫からなり、瀬と淵が連続する。

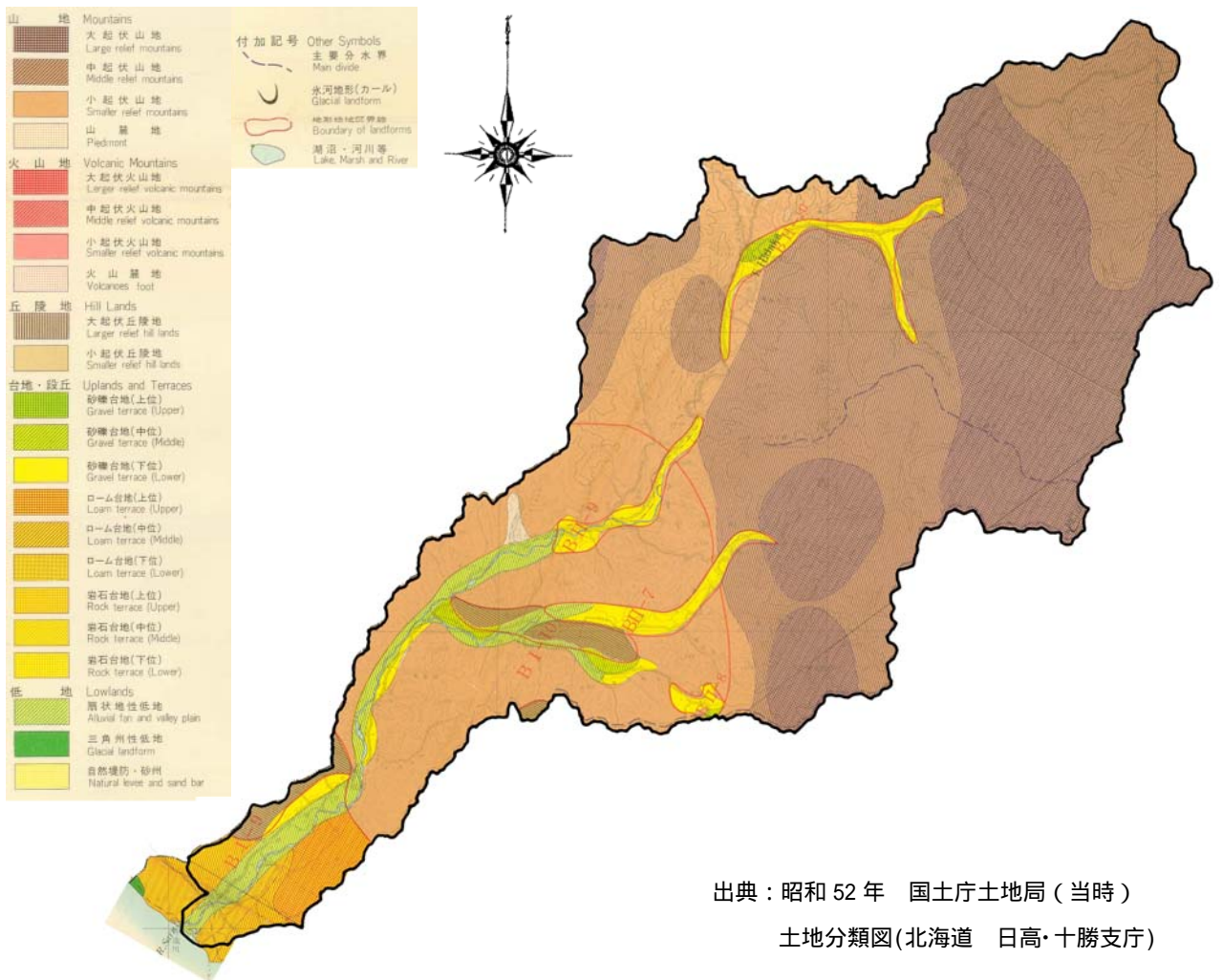


図 1-2 沙流川地形分類図

### 1-3 地 質

流域の地質は、上流部の山間部から下流部の平地部へ順次、白亜紀の砂岩・泥岩や凝灰岩等から第四紀の沖積層・洪積層により構成されている。なお、最上流の日高山脈には、日高変成帯が分布する。

日高変成帯は、ハンレイ岩、カンラン岩等の深成岩類および結晶片岩、片麻岩等の変成岩類からなる。古生層である先白亜紀の黒色粘板岩・砂岩のなかに硅質岩・輝緑凝灰岩を介在または互層する日高累層群、白亜紀の砂岩・泥岩を主とする蝦夷層群、輝緑凝灰岩を主に硅質岩・粘板岩等を含む空知層群が分布し、特に振内北部は蛇紋岩体(貫入岩)が分布する。振内付近より下流では、砂岩・泥岩互層を主とする川端層や滝の上層等の新第三紀層が分布する。河口付近には砂・砂礫からなる第四紀層が分布する。

地表は一般に砂礫を混入した砂土壌や植生で覆われているが、川に面する急傾斜地では基岩の露出している箇所が多い。下流部においては、土砂の堆積等で土壌も厚く、表層には火山灰が5～20cm程度堆積している。

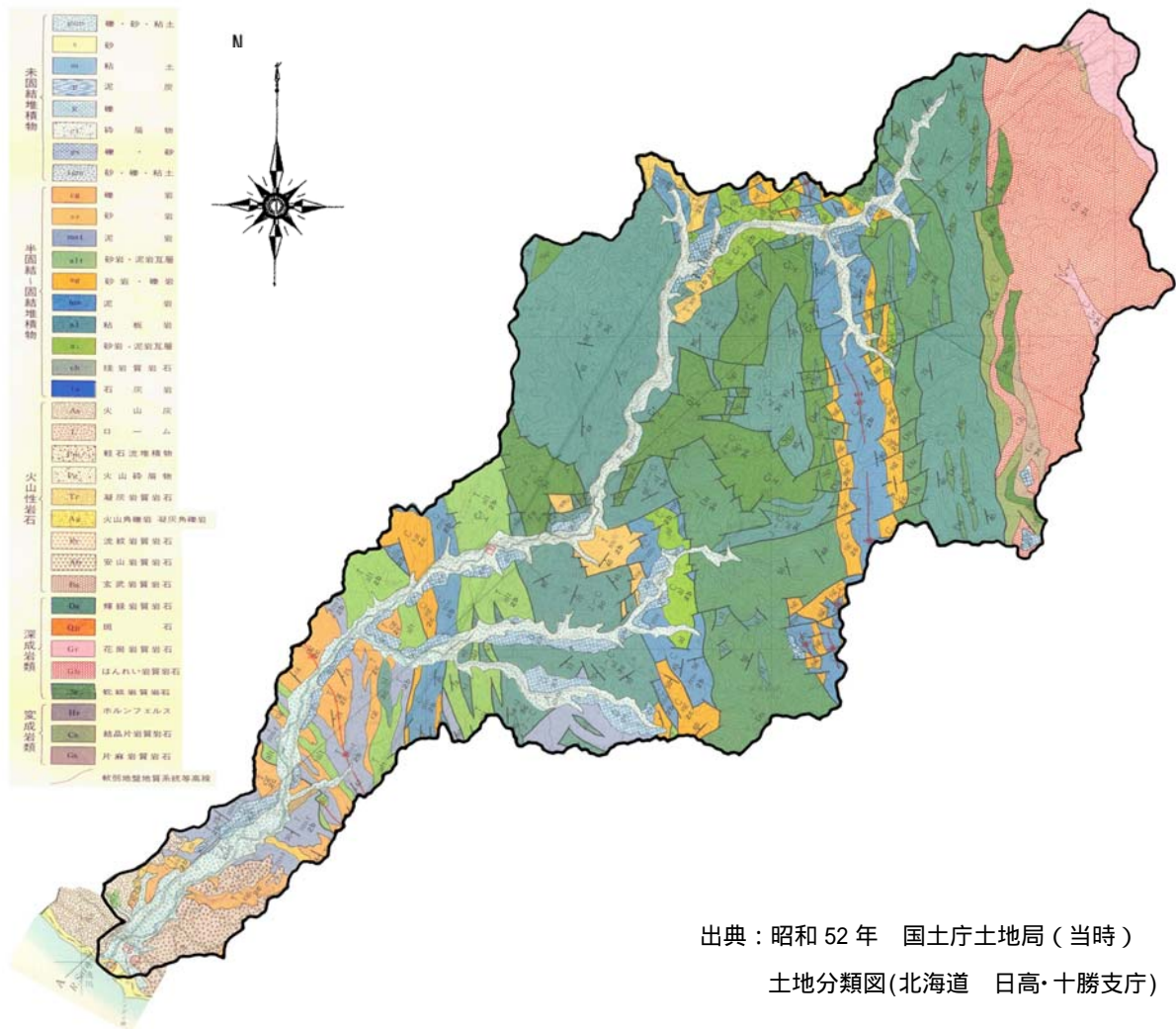


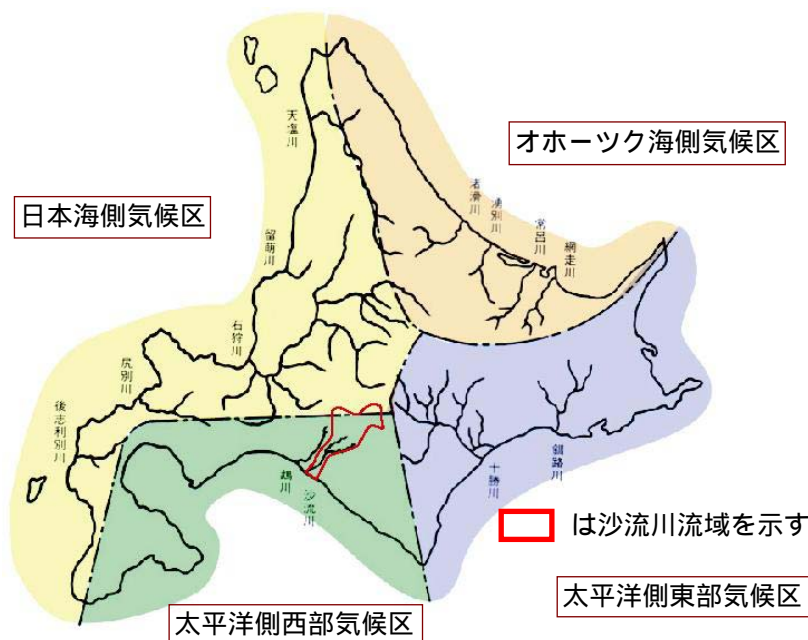
図 1-3 沙流川表層地質図

1-4 気候・気象

沙流川流域は、太平洋側西部気候区(表日本型)に属し、太平洋岸から内陸へ約 80km の南北方向にやや細長い形状の地域である。

海岸部(門別町)の夏は、沿岸を南下する親潮の影響で、あまり昇温せず海霧を伴う冷涼な日が続く。また冬は、シベリア大陸からの影響が弱いため、積雪量の少ない比較的穏やかな気候となり晴天の日が多い。

年平均気温は日高門別で 7.3 であるが内陸にはいるにしたがい標高が高くなるため低下し、日高では 5.9 である。年平均降水量は、日高門別で 1,003mm、日高 1,410mm である。日高は内陸的で 8 月の最高月平均気温は 22.7 、1 月の最低月平均気温は -10.7 と寒暖の差が大きい。降雨も台風や低気圧の影響を受け、8 月には 200mm/月を越える。日高門別では、海岸性で気温差も少ない。8 月の最高月平均気温は 22.9 、1 月の最低月平均気温は -7.9 である。降雨は 7~9 月が 120~190mm/月と多いが、これ以外の月は概ね 100mm/月以下である。



出典：「北海道の気候」を基に作成

図 1-4 気候区分図

表 1-2 各気象観測値

	日高	日高門別	北海道平均
平均気温( )	5.9	7.3	7.7
最高気温( )	31.5	28.3	30.0
最低気温( )	-22.2	-18.8	-15.8
平均風速(m/s)	1.4	2.5	3.8
最大風速(m/s)	7.7	13.0	18.1
日照時間(hr)	1,176	1,673	1,632
降水量(mm)	1,410	1,003	1,191

出典：気象庁ホームページ「電子閲覧室」による  
統計期間(1995年~2004年)

表 1-3 月別平均気温・降水量

	日 高		日高門別	
	月平均気温	月降水量 mm	月平均気温	月降水量 mm
1月	-8.2	62	-5.4	39
2月	-7.3	43	-4.6	21
3月	-2.7	89	-0.2	38
4月	4.5	94	5.5	59
5月	10.8	138	10.4	111
6月	15.1	68	14.2	76
7月	19.3	159	18.6	150
8月	19.4	241	19.8	186
9月	15.1	170	16.9	118
10月	8.4	136	10.8	89
11月	1.5	131	4.1	77
12月	-5.4	70	-2.7	40

表 1-4 年平均気温・年降水量

	日 高		日高門別	
	年平均気温	年降水量 mm	年平均気温	年降水量 mm
1995年	6.2	1,518	7.5	1,187
1996年	5.3	1,342	6.7	956
1997年	6.0	1,611	7.5	1,092
1998年	6.0	1,431	7.2	1,117
1999年	6.3	欠測	7.8	950
2000年	5.9	1,607	7.4	1,050
2001年	5.1	1,422	6.4	926
2002年	6.0	1,063	7.3	845
2003年	5.7	1,405	7.0	979
2004年	6.5	1,289	8.0	930
平均	5.9	1,410	7.3	1,003

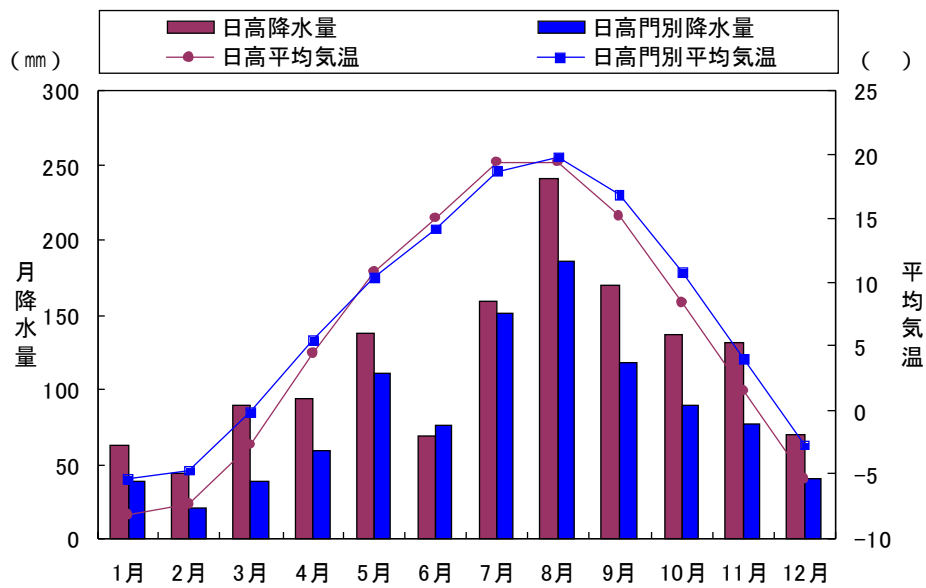


図 1-5 月別降水量・気温

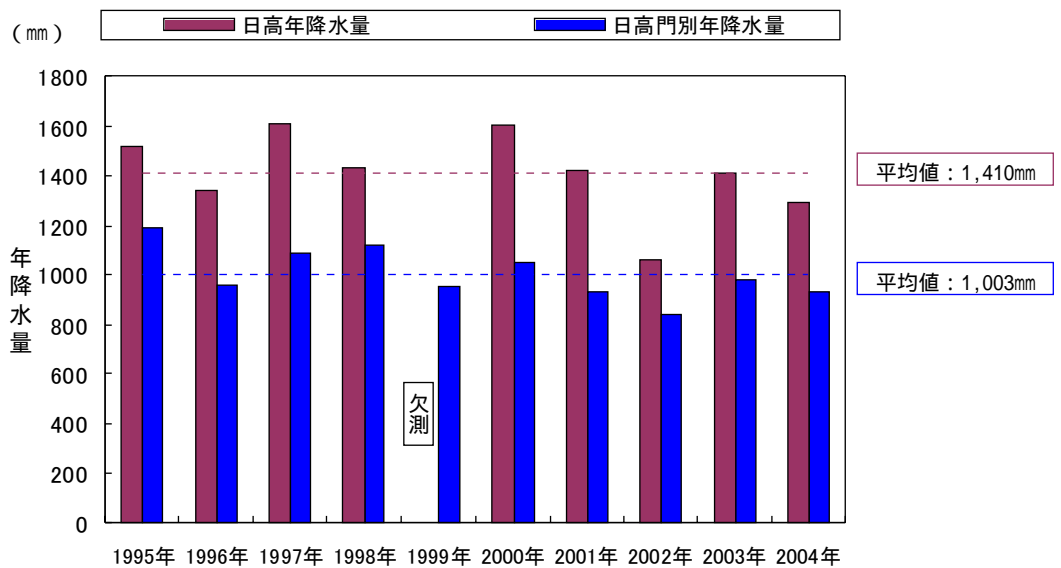


図 1-6 年降水量

出典：気象庁ホームページ「電子閲覧室」による  
統計期間（1995年～2004年）